

札幌コンベンションセンター 新型コロナウイルス感染症・感染拡大防止ガイドライン

本ガイドラインは、札幌コンベンションセンターにおける感染拡大予防として、施設管理者（指定管理者）、催事主催者及び施設利用者それぞれの立場にて取り組む対策を策定した。本ガイドラインの内容を周知徹底し、持続的に感染症感染拡大防止に努める。

北海道、札幌市の指導を第一とし、業界団体の指針等も踏まえて随時更新を行う。

1 催事主催者の対策

(1) 施設使用許可条件

- ① 北海道庁、札幌市の示す、段階的緩和の人数制限の範囲内で、且つ、3密の発生及び大きな声を出す場面、歌唱、声援、近接距離での会話が回避できることが認められる場合に限り、感染予防策を講じた上で開催を認めることとし、状況に応じてその範囲を見直す。
- ② 準備を含む施設使用中は、以下の換気対策をとる。
 - a) 窓、又はドアを二か所以上開放し、換気を行う。
 - b) やむを得ず、ドアを閉める場合については休憩時間に十分な換気を行う。
 - c) 上記 a)、b)の換気対策がとれない場合は、原則、施設の使用を認めない。

(2) 催事主催者の対策

- ① 催事主催者は、関係者の健康管理を徹底し、発熱等の症状がある場合は、催事運営に関わらせない。
- ② 催事主催者は、参加者に自宅での検温を義務付ける又は、入場時に検温を実施し、発熱等の症状がある方の来館を控えるよう対策を行う。不特定多数が参加するイベント、展示会や100人を超える催事に於いては原則として入場時に検温を実施する。
- ③ 催事主催者は、アルコール消毒液、体温計、マスク、ビニール手袋等、その他感染予防策に必要な備品を用意する。
- ④ 催事主催者は、休憩時間などエントランスや廊下を使用の際、一度に休憩する人数を減らし、対面での会話や飲食を控えるよう周知する。
- ⑤ 催事主催者は、万が一感染が発生した場合に備え、参加者を追跡出来るような仕組みによる催事の案内及び開催を行い、参加者情報（氏名、居住地（北海道内は市町村・道外在住者は都道府県）、緊急連絡先）を把握し、名簿を作成・保存する。この場合の個人情報の取り扱いは、法令を遵守するとともに適正な管理を徹底する。催事関係者（出演者、協力業者、スタッフ含む）についても同様とする。
- ⑥ 催事主催者は、上記①～⑤、及び以下(3)～(5)の感染予防策のほか、催事の特性に応じた感染予防策を講じるものとする。なお、催事責任者は事前に「感染症拡大予防策の実施誓約書」にサインをし、催事関係者に感染予防策を周知徹底するものとする。

(3) 入場者の整理

ア 密にならないための対策（「3つの密」を避ける）

- ① 使用する施設の規模は、催事参加者数の倍の収容人数を有するものとする。
- ② 参加者は施設の外（屋外）又はエントランスにて待機させ、待機中に人が密集しないよう会場収容人数に合わせた人数ごとに入場させる。

- ③ 待機させるに当たっては、2m程度の間隔で待機位置を床表示し、参加者をその位置に並ばせ適切に誘導する。
- ④ 受付及び入場時間、休憩時間に余裕をもたせ、参加者の一時的な密集を回避する。
- ⑤ 入場整理の案内員を屋内外に配置し混乱と密集を回避する。
- ⑥ 会場の出入り口は必要最小限度とし、むやみに不特定の扉を開放しない。

イ 発熱等の症状がある方の入場制限等

発熱や咳、咽頭痛などの症状がある者は、原則として入場を制限する。

ウ その他

催事の規模を、比較的少人数規模から段階的に拡大していく場合には、入場の際の検温において人体用サーモグラフィを導入するなど、速やかな入場を可能とするような工夫をする。

(4) 対人距離の確保の方法

ア 接触感染対策

- ① 受付では、主催者等関係者はビニール手袋を着用する等、手指の直接接触を回避する。
- ② 受付は、参加者同氏が用紙や筆記具を使いまわすなど接触のリスクが増える方法を避ける。都度、各者の手指や備品を消毒しながら行うものとする。
- ③ 着席による催事は、対面とにならないように配席を工夫すると共に、隣同士の間隔を可能な限り広くする。
- ④ 飲み物を提供する場合は、手渡しや他の参加者の分まで参加者が接触してしまうような方法、共用のポットの使用等を避ける。
- ⑤ 催事で使用するマイクやプロジェクターを扱う者はビニール手袋等を着用し、質疑応答等で複数の者が使用するマイクはスタンドを活用するなど、参加者が直接手に触れないよう工夫をする。

イ 飛沫感染対策

- ① 受付では、アクリル板や透明ビニール等で遮蔽し、対面での開放箇所は受付に要する手元部分のみとするなど工夫する。
- ② 食事を伴う催事では弁当の提供を推奨し、ビュッフェ形式は当面の間、禁止とする。

(5) その他、基本的な感染拡大予防策

- ① 鼻水、唾液などが付着したゴミは、ビニール袋に入れて密閉し処分する。
- ② マスクや手袋の使用後は、速やかに処分するとともに、石鹸と流水による手洗いを行う。
- ③ 高齢者や持病のある方が多数集うと見込まれる会合の開催については、感染及び感染による健康被害のリスクを鑑み、開催の必要性・時期・代替手段を検討し、施設管理者と協議の上実施の決定を行う。

2 来館される方へのお願いとご案内

(1) ご来館の前に

- ① 自宅で検温を実施。発熱や咳、頭痛、その他感染症が疑われる症状がある方については入館をお控えいただくこと。
- ② 当面の間、エントランスやトイレ等のフリースペースのみのご利用目的の来館をお控えいただくこと。
- ③ トイレのハンドドライヤー設備使用停止のため、各自のハンカチ等を持参するよう努める。

(2) 来館中の感染拡大予防の要請

- ① マスク着用・手洗い・手指消毒・人との距離を保つ等の感染拡大防止策を行うこと。
- ② 大声での会話等、感染リスクの高い行為を行わない。
- ③ 主催者からの連絡先の聞き取りに協力する。感染が明らかになった場合は、保健所等の感染追跡調査等の実施に協力する。また、濃厚接触者となった場合も同様とする。

3 施設管理者の対策

(1) 施設管理者自身の対策

- ① 就業前に体温測定をし、37.5度以上の発熱がある場合や、発熱がなくても感染が疑われる体調不良がある場合に出社させない。
- ② 咳エチケット、こまめな手洗い、手指消毒、マスク着用を徹底する。
- ③ 作業着等その業務に応じた特定の衣類を着用する者は、常に洗濯された衣類を着用する。

(2) 施設内各種対策

ア 施設・設備・備品等の消毒対策

- ① 施設全体について、ドアノブ、扉、手摺り、トイレ、エレベーター、自動販売機等、不特定多数が触れる箇所を適宜、清拭消毒を行う。催事に利用する箇所は日に二回以上行う。
- ② 使用する会場については、使用前使用後にテーブル、椅子、マイク等消毒作業を実施し、高頻度に接触する箇所は特に注意を払う。
- ③ 消毒にあたっては、アルコール消毒液を用いる。

イ 施設の換気対策

- ① 空調機器により外気を取入れ、換気を行う。
- ② 開放が可能なドア・窓を使った換気を積極的に行う。

ウ 施設サービスにおける対策

- ① 施設入口及び各会場周辺の廊下、トイレに手指消毒剤(アルコール消毒液)を設置する。
- ② トイレに設置しているハンドドライヤーを使用停止する。
- ③ トイレ使用後は、蓋を閉じて汚物を流すよう表示する。
- ④ 休憩スペースや自動販売機、駐車料金の事前精算機等で人が密集しないようレイアウトの工夫や、表示等で対策を行う。
- ⑤ 催事主催者には、必要に応じて消毒液、飛沫感染防止シート等感染予防用品の販売、サーモグラフィ等の感染拡大防止に必要な機材のレンタル対応を行う。

エ レストランにおける対策

- ① 席数を通常の50%以下、1テーブル1名又は2名での利用を原則とする。
- ② テーブル、椅子は利用の都度アルコール消毒を行う。
- ③ カスターセット等、共用で使用する物は必要に応じて提供し、使用の都度表面をアルコール消毒する。

(3) その他、基本的な感染拡大予防策

- ① 施設事務室受付・警備室では透明ビニール等で遮蔽し、飛沫感染対策を実施する。
- ② 鼻水、唾液などが付着したゴミは、ビニール袋に入れて密閉し処分する。
- ③ マスクや手袋の使用後は、速やかに処分するとともに、石鹸と流水による手洗いを行う。
- ④ 高齢者や持病のある方が多数集うと見込まれる会合の開催については、感染及び感染による健康被害のリスクと実施の必要性について主催者と十分に協議の上、実施の決定を行う。
- ⑤ 施設利用者の感染が明らかになった場合は、速やかに保健所へ報告し各施設内の消毒作業など必要な措置について相談を行う。

(4) 予約受付の指針

ア 各室入場者及び催事参加合計人数の制限

- ① 同時に入室する人数を通常の収容人数の50%以下とし、着席した際の周囲との距離を1m以上確保することを原則に予約受付をする。対面や発話の多い場面では2m以上の間隔を要することとする。
- ② 1,000人(催事合計・同時入室人数)を超える催事については、感染拡大状況によっては再び催事規模の制限などが行われる可能性の説明を尽くした上で受付を行う。

イ 催事主催者と感染防止策の実施と協力の確認の実施

- ① 使用の承認にあたっては、催事主催者から感染防止策の実施に協力が得られることを確認する。
- ② 社会全般の感染拡大状況や、施設利用者の感染判明などによって施設の利用に影響が出る可能性について説明を行い、事前に十分に了承を得る。必要に応じて覚書を取り交わす。